

第421回月例
最終日曜日



河原版

主催 月例川崎マラソン実行委員会
後援 川崎市教育委員会

発行責任者 佐藤 静雄
編集 集「河原版」編集委員会
〒211-0043 川崎市中区新城中町4-10-305
新日本スポーツ連盟川崎市連盟
(連絡先) 神奈川県ランニングセンター
Tel 045-430-5665 Fax 045-430-5666

例会終了後の問合せは市連盟事務所 044-752-8444へ
3月中止に伴い郵便振替での棄権届を一時復活します
名義: 新日本スポーツ連盟RC 番号: 00260-4-33100

3/11 14:46に東北関東大震災
史上経験のない巨大地震東日本を襲う
がんばれ東北! がんばれニッポン!
(死者行方不明者2万名 避難35万人)
東電福島第一原発1-4号原子炉制御不能に放射性物質飛散
消防機関・自衛隊懸命の放水 半途30分緊急避難!

地震後東北から房総にかけて太平洋沿岸は津波が押し寄せ呑み込みました。ほうほうの態で難を逃れた被災者の方々は寒さにもげず頑張っています。「がんばれ東北!」「がんばれニッポン!」「明日を信じて! 仲間を信じて!」熱い支援の手を差し伸べる輪が広がっています。3月13日の、2011年川崎ハーフマラソン大会は、震災直後だけあって、開催を危ぶむ声もありましたが、川崎市連盟は主催者として、周辺の安全を確認した上で、「被災地へ支援の意思表示」を掲げ開催に踏み切りました。当日は参加者の被災者の苦勞に思いを馳せ、救援募金に



写真は募金を訴える藤本 貴さんとそれに応える参加者たち

も早く応えて下さいまして17万円余の募金が集まりました。募金は後援の川崎市へ届けられました。スポーツマンの温かい心に包まれた大会となりました。

お知らせ

3月(421回)月例は東北関東大震災により「中止」と致しました。計画停電・原発事故の推移を勘案し中止としました。3月月例は連続回数としてカウント致しません。3月を既に棄権届けをされている方の参加費は4月に継承されます。

また3月中止により棄権の届が出来ませんので、4月に現地に来れない方へは過去分として棄権届を受付、連続出場を継続出来るようにいたします。2月「棄権届」用紙「郵便振替」は廃止しますと記載しましたが、今回一時的に復活します。また記録一覧に通算・連続回数を表記しています。回数に違いがありましたら「よろず相談」用紙にて申し出下さい。バーコード受付を通過しない方は「ノーエントリー」の表示をします。

月例川崎でも「ホームページ」を開設しました

URLは <http://yggoe.jp/kawasaki/> でお

アクセスして下さい。

第420回月例表彰者

◇3回連続優勝賞

3K中女
1294 堤阿 輝子
(10年12月、11年2月)

◇180回連続出場賞

1315 清家 一徳

◇65回連続出場賞

1948 安孫子 優貴

◇50回連続出場賞

2008 山岸 陽一

◇35回連続出場賞

319 星野みゆき

◇25回連続出場賞

1871 金子 和司
3027 吉田 孝司

◇9回連続出場賞

45 佐々木 博司
3391 相馬 謙吾
3860 武田 弘道
3863 中村 信夫
3922 西村 壮史
3927 西村 義之
3928 齋藤 真史
3929 齋藤 真史
3929 西村 義之
3929 西村 義之

◇4回連続出場賞

2500 青木 浩明
2506 中山 清
2882 板谷 弘道
2885 原 功二
2887 中村 哲
2887 細田 貴紘
2887 宇治林 秀夫
3416 村田 龍太
3416 吉田 茂樹
3416 馬場 充
3416 田上 大

2011年川崎ハーフマラソン大会は
前日は開催問合せの電話が殺到しました。「開催の方向で」と案内しました。当日は600名のランナーが足を運んで頂きました。開催までの経緯を全国スポーツ連盟HPへ投稿しましたところ掲載して下さいましたので紹介します。(本文)11日に東北太平洋岸大地震が起き、関東から東北にかけて未曾有の大震災があった翌々日、被災地の状況が刻一刻と深刻に報道される中、川崎ハーフマラソン大会を開催することが主催者として多くの方に受け入れて頂けるか大変心配でした。そんな中開催するに当たっては、「単なるスポーツイベントの消化」であってはならない。それは今から16年前の1995年の東京・広島・長崎反核平和マラソンで経験した「スポーツが被災された方々に勇気を与えた」ということを被災者自身の声として聞いた所によりどころがあります。誠心誠意訴えれば、「きつとご理解頂ける」との確信のもと開催しました。それは同時にスポーツマンとして被災された方々に救援、支援の具体的な行動を起こそうと呼びかけ救援募金を訴えることでした。大会の開催にあつてのインターネット等で「震災の中スポーツなど不謹慎だ」との声も聞こえましたが、私たちが信念を持って訴え開催しましたところ多くのランナーから共感を頂き、当日17万余の義援金をお寄せ頂きました。大会終了間際には「今日、(被災地の方へ)思いを寄せながら走る事が出来た」大会を開催して良かったですねーとのランナーの声が寄せられ、良かったと同時に、胸に熱いもの感じた次第です。(川崎ハーフマラソン事務局より)

2011年川崎ハーフマラソンレポート



奈良 孝之 4126
安達 謙次 4129
額 謙輔 4134
茂木 温輝 4140
熊澤 栄二 4146
杉原 寛哉 4161
石井 慶太 4168
早田 明弘 4178

杉本 雅則 1307
吉川 政治 1322
進藤 恭郎 1329
周川 淳平 1233
菊地 礼奈 1268
松崎まど香 4096
優衣 (10年12月) 佐藤 祥一

第420回月例参加者動向

2011.2.24 晴れC0.0 m/s 13°C 44%

種目	男子	女子	合計	
10k	201	37	238	
5k	205	50	255	
3k	幼少	24	5	29
	中学	5	3	8
	大人	223	46	269
計	252	54	306	
子ども1k	41	18	59	
延べ出場者	699	141	840	
初参加者	58	18	76	
棄権	73	18	91	
延べ参加者	772	159	931	

年間累計出場者 (～2月) 1723
実数 552 (昨年月 1142)

◆来月の月例は、4月24日です。
4月からは夏時間。
子供1k 8:15 3k 8:30
5k 9:00 10k 9:30
です。
スタート1時早まります

第420回月例 スナップ

写真・
インタビュー
中山 浩明

① 仲間 チーム名はMRCで、ムームランニングクラブの略です。チームの発足のきっかけは、ゴスペル(黒人霊歌)を歌う仲間の中で、体力作りをしようという発案があり、二人で立ち上げました。それからメンバーが徐々に増えて、今日は8人のメンバーで参加しました。今回で2回目ですが、楽しく走ることができました。チームのモットーは「きずな」です。みんなでゴスペルを歌う時のように、常にチームワークを考えながら走っています。ですから駅伝にもよく参加しています。多摩川で開催される「リバーサイド駅伝」や相模原の基地内で行われる駅伝にも出場します。普段は皇居の周回コースで練習することが多いです。またそれぞれの地元でも時間があれば出来るだけ走るようにしています。平均すると月間300kmぐらいの走行距離になります。また私たちのメンバーの一人が、メンテナンステキの仕事をしていますので、ユニフォームには、非常口の図柄がプリントされています。「どこまで行っても逃げきる」と



「仲間」のメンバー4名。左から438番、38番、245番、73番のメンバーが写っています。

いうイメージです。また参加したいと思います。(上写真4303横田 勲さん、1381森けあきさん、1345高田 晃子さんと「非常口」マークの方です。)

② 左写真1私達は、みんなご近所で大田区の下丸子周辺に住んでいます。子供達は1歳から8歳までいます。普段はサッカーや水泳をしています。4341の清水 隆聖君は南雪谷に住んでいます。幼稚園年少の4歳です。普段は体操教室に通っていますが、走っているときは少しづつですが、ゴールした後はみんな笑顔にもどります。同じ仲間と一緒に走ることは本当に楽しいですね。



左写真1は、大田区の下丸子周辺に住んでいる子供達と保護者の方々の写真です。

目例エッセー 『沖縄そば』 162 山下 寛

沖縄の10月17日は、「沖縄そば」を正式に国の機関に認めさせた記念すべき日なのである。「沖縄そば」はもともと、中国から「支那そば」として伝わってきたもので、中国から「支那そば」で、当時は非常に手に入りやすく、高級なことから宮廷料理として、とても庶民のくちには出来るものではなかった。「沖縄そば」の店は、昭和30年頃まで「かん水」を使用しないで、「ガジュマル」(木の名称)などの木を燃やしてつくった「木灰」(木の灰)として混ぜ「木灰」のなかには、カルシウム・カリウム・ナトリウム・マグネシウムなどの無機塩類が豊富にふくまれており、強く練りこむことで、独特の腰と風味が生まれる。「沖縄そば」が正式な名称として認証される以前、昭和51年ころ公正取引委員会から「沖縄そば」は

そば粉をまったく使用していないので「そば」と名称づけるのはおかしいとクレームがついていた。「そば」の基準となる、そば粉30%以上を使用していないので「沖縄そば」を「そば」と名称することが許可されなかった。しかし、沖縄県製麺協同組合は、県内の公正取引室や、東京の全製麺協同組合や東京本庁に、粘り強く何度も足をこび、そのたびに「沖縄そば」をもっと試食してもらおうが、現地で作る生の「そば」ではないので、味が落ちてしまい認めてもらえなかった。それでと、考えたあげくに沖縄に公正取引委員会の代表をよび、生の「沖縄そば」を試食してもらったこと、とうとう昭和53年10月17日に正式に認可されたのである。それから、宮古島では「沖縄そば」石垣島では「石垣そば」宮古島では「宮古そば」と地名の名称を頭につけた呼び名が当たり前のようになっている。自分にとって故郷の味はと聞かれると、やっぱり子供のころからいつでも口にしてきた「石垣そば」である。石垣島から横浜に住み着いて44年になるが、お正月の年越し蕎麦はどうしても家族みんなで「沖縄そば」を食べるのである。(完)

『快汗駄句駄句』

河原六茶 (俳号)

「外国人献金問題で前原外相辞任」
科めさせて 悦に入ってる 愚か者 野党 国益無視
大臣を 科めれば同様の 程の罪 情けが仇に
科められて 引張る次の 足探し
次は厚労相ですか

「東京マラソンで市民ランナー 世界選手権キップ」
公務員 死ぬ気で駆けて 叶う夢 常習の医務室直行
一夜明け デスクにわかに 会登場 レース翌日出動
(1959 下山 孝雄)

「東北地方太平洋岸大地震」
からのくに津波おしいし 君のがれ ノアの方舟のらんと救済
やませよき 原発の怖さ 今ぞしり (苔茶)

月例エッセー

『こいつあ春から縁起がいいや』 134 森 泰之

春到来のいい予感がする。駅前通りのパチンコ店で、珍しくアツという間に大連チャンして、十九箱積み上げた。この瞬間、ゾクツとするほどのアドレナリンが体内を駆けめぐり体が震えた。ところがアツという間に残りは一箱になった。悲しみと喜び、この両方を味わって身も心もスッキリ、煩惱を洗い落して春風。晩年の美学は、限度を見定めることである。夜の薔薇 (完)

3月11日は多くの人たちに忘れぬ日となりました。被災地では最愛の人や家財までも一瞬のうちに失ってしまいました。ご冥福をお祈りするとともに被災された方々へお見舞い申し上げます。幾多の地震がありまし、いい防ぎようのない巨大現象になすすべを失いました。日本海溝に沿う沈み込んだプレートが極限に達し跳ね上がり南北500km幅、200kmにわたって断層が動いたという。M9.0の巨大地震は海をも持ちあげ短時間のうちに津波となって押し寄せた。私たちはその脅威を映像を通して見た。全てをなぎ倒し、黒くどうごめく巨大な生き物のように陸地の奥深くまでありとあらゆる構造物を呑み込んで進んでいった。そして原発災害。安全神話は崩れ、阻止しようとする活動が続いている。最悪のシナリオにはしてはならない。政府や報道機関は正しい情報を流してほしい。何度も地震や津波に襲われる日本。自然災害に涙が枯れ果てても明日に向かって生きていかなくてはならない。私達は応援するよ。

編集後記

①「原稿募集」コメントイラスト、写真何でも可メールアドレスは krasnow@biglobe.ne.jp
②1月よりバーコード本格運用にしました。バーコードは胸NOIC右下へ吊り下げて下さい。また紛失しないようにお願いいたします。
③3月月例中止に伴い紙での「葉権届」「郵便振替」一時的に復活します。
④前月記録一覧に連続回数と通算回数一を表記しました。初参加が2000年以前の方は通算回数を申告して下さい。
自己管理です。紛失でのバーコード再発行500円、NOIC再発行場合、300円がかかります。